

初!

JVTAロサンゼルス

日英字幕

コンテスト開催!

最優秀賞者・優秀賞者には特典あり!

開催期間 2023.6.27[TUE] - 8.1[TUE] / PDT
2023.6.28[WED] - 8.2[WED] / JST



JVTA Los Angeles Presents 日英字幕翻訳コンテストとは

本コンテストでは、日本の映像コンテンツのワンシーンを使い、参加者の皆様に英語字幕を作成・提出していただきます。翻訳未経験者でも参加可能です。少しでも映像翻訳や日本のコンテンツに興味があれば、ぜひチャレンジしてみてください。

コンテストを通して日英映像翻訳の世界に触れていただき、映像翻訳、そして日本の映像コンテンツにより興味を持っていただきたいと思います。

開催概要

開催期間：2023年6月27日(火) 12:00～8月1日(火) 23:59 (PDT)
2023年6月28日(水) 4:00～8月2日(水) 15:59 (JST)
開催方法：課題は本ウェブページ上で発表。字幕案は Google Form で提出
形式：オンライン
参加費：無料
選考方法：JVTA 講師による審査後、最優秀賞1名、優秀賞2名を選出予定。
主催：日本映像翻訳アカデミー株式会社 (JVTA)



応募要項

ルール：・制限文字数を守って翻訳する
()にある制限文字数に従って翻訳してください。文字は場面や台詞の長さを考慮して算出された文字数です。

英数字、句読点、スペースはそれぞれ1文字ずつ文字数のカウントに含まれます。
例：Where did you go? (17文字)

今回は、クエスチョンマーク(?)、エクスクラメーションマーク(!)、コンマ(,)、ピリオド(.)、ハイフン(-)、クォーテーションマーク(")以外の記号は使わないようにしてください。

・長い字幕は改行する

1つの字幕は40文字×2行に収めます。そのため、1行が40文字を超えないように適宜、改行してください。改行する際は、ただ折り返すのではなく、読みやすい文節で切るようにしましょう。

対象者：翻訳経験の有無を問わず、どなたでも参加可能(ただし以下に該当する方は除く)。
・ご自身の単独の翻訳による字幕・吹替作品が3つ以上ある方

特典：最優秀賞(1名)：US Amazonギフトカード\$200(米ドル・電子配布)
優秀賞(2名)：US Amazonギフトカード\$100(米ドル・電子配布)

※受賞者は『釜石ラーメン物語』が上映される Japan Film Festival Los Angelesで表彰予定です。詳細が決まり次第、特設ページでご案内します。

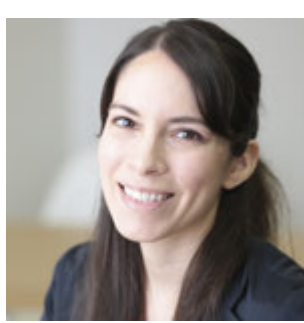
応募方法：WEBページのApplyボタンから字幕案を入力して送信
※その他の方法での応募は審査の対象外とします。
※複数回の提出、Google form以外による提出、締切日を過ぎての応募は一切認められません。ご注意ください。

審査員紹介：永山南海子(講師・MTCディレクター)



アメリカ、カリフォルニア州出身。JVTA ロサンゼルス校で通訳、実務翻訳、映像翻訳を学んだ後、日英翻訳者としてドキュメンタリーや短編映画、ビジネス系動画の映像翻訳のほかにアニメの台本翻訳など幅広いジャンルで活躍。現在、JVTA メディアトランスレーションセンター(MTC)のディレクターや日英講師を務める。

ジェシー・ナス(講師・日英講座開発プロデューサー)



アメリカ、カリフォルニア州出身。カリフォルニア大学ロサンゼルス校を卒業後、渡日。JVTAで日本映画、テレビ、マンガなどのコンテンツを翻訳し海外に発信するスキルを学ぶ日英映像翻訳の授業で講師を務めるほか、講師の育成やカリキュラムの開発なども手がける。

- 注意事項：**
- ・翻訳原稿の著作権は日本映像翻訳アカデミーに帰属します。
 - ・課題文、審査内容、成績および審査結果についてのお問い合わせ、字幕案提出の確認には一切応じられません。
 - ・ご提供いただいた個人情報は、コンテストの選考と発表、賞品の発送ならびに、日本映像翻訳アカデミーからの翻訳講座情報の案内に利用いたします。その他の目的では利用いたしません。
 - ・上記の内容に同意された方のみ、ご応募ください。
 - ・応募規定が守られていない場合、応募は無効となりますのでご注意ください。

課題作品紹介



© Kamashi Ramen Story Production Committee

『釜石ラーメン物語』 2022/日本/カラー/16:9/85分脚本・監督：今関あきよし
山と海に囲まれた岩手県釜石市のラーメン店「小川食堂」。東日本大震災で店を切り盛りしていた正恵が行方不明になってから、残された夫の剛志と次女の仲良が店を守ってきたが、客足はいまいちだった。そんなある日、3年前に家を飛び出したきり音信不通だった長女の正美が突然帰ってくる。厨房に立つ仲良に「お前にお母ちゃんの味は出せない」とダメ出しし、店を畳もうとまで言い出す正美。姉妹はぶつかりながらも、かつての母の味に迫ろうと、街の人々を巻き込み奮闘する。

課題箇所の場面設定

東北ご当地ラーメンを紹介する企画で「小川食堂」のラーメンを取り上げるため、ユーチューバーのマリリンがラーメン評論家を連れて食堂にやってくる。正実や仲良が見守る中、いよいよ評論家がラーメンを食べ始めるが、その食べ方を見た正実は思わず口を出す。

(出題箇所のやりとり)

- 正実：おいおい何やってんだ。馬鹿にしてんのか？(27)
マリリン：馬鹿になんかしていないですよ。(28)
マリリン：この方は非常に優秀なラーメン評論家さんなんですが、欠点が一つ。(78)
マリリン：麺をすすれないんです。(27)
正実：は？ふざけんな。ラーメン評論家が麺をすすれないとはどういうことだ。(52)
正実：評論家失格だろ。(23)
マリリン：大丈夫です。味覚は確かなんで。(40)